※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 2003 |
|---|---|

# 令和８年度　理科

| 教科 | 理科 | 科目 | (学)標準生物基礎演習 B | 単位数 | １単位 | 年次 | ３年次後期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高等学校　生物基礎（数研出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 共通テスト対策実力完成直前演習生物基礎（ラーンズ）<br>共通テスト総合問題集生物基礎（河合出版）<br>共通テスト実践問題パック Ｖ 生物基礎（駿台文庫）<br>二訂版ニューステージ生物図表（浜島書店） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・弱点分野を復習してから受講しましょう。授業では、各単元にわたる実践的な問題に取り組みます。
・計画を立て、苦手分野を重点的に解き進めていく。計算を得意とする人は、暗記すべき内容を中心に復習していこう。３年次では演習を重ね、入試で実力を発揮できるように進めていく。

2　学習の到達目標

・生物現象について基本的な概念や原理・法則を理解する。
・基本的な知識や法則を応用し、グラフの読み取りや実験の考察など科学的な思考、分析する力を養う。
・各自が主体的で粘り強く学習に取り組む態度、見通しをもって振り返りを行う態度、積極的に学習を調整する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身につけている。 | 自然の事物・現象の中に問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身につけている。 | 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身につけている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 後期 | | 生物の特徴<br>遺伝子とそのはたらき<br>ヒトの体内循環の維持<br>生物の多様性と生態系 | a:基本問題を、時間内に回答する ことができる。<br>b:問題を正しく読み取り、回答する。<br>c:弱点を理解し、粘り強く取り組むことができる。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査 | 授業プリント<br>振り返りシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度